全建連新聞

社団法人　全国中小建築工事業団体連合会
東京都港区赤坂2丁目2番19号　〒107　アドレスビル内
電話03(586)3381
購読料送料共　半年200円1ヵ年400円

規模/技術/品質を誇る
建設省防火建築材料認定品
三菱石膏ボード
発売元　三菱商事株式会社
製造元　日東石膏株式会社
日東石膏ボード株式会社
日本石膏ボード株式会社

業界振興の努力に栄誉

須佐見、黒田両氏に建設大臣表彰

毎年七月十日から始まる国土建設週間にちなんで、建設業の振興に功績のあった方々が建設大臣から表彰される。今年は、当会から、須佐見源三元副会長（京都府建築工業協同組合）と黒田重雄理事（姫路建設業福祉共済組合）のお二人が推せんし、このほどお二人とも表彰されることが正式に決まった。表彰式は七月十日十一時から建設省大会議室で行われるが、この晴れの表彰式に、須佐見、黒田両氏とも奥さん同伴で出席される。

須佐見氏

良心的な施工を貫く

須佐見源三氏は、昭和十五年から須佐見工務店を経営し、住宅、学校などの建築にとりくみ、つねに無駄のない適正予算で、良心的な施工をつらぬき、関係者の信頼をあつめた。とくに社寺建築については多くの業績を残している。

また永年無事故施工につとめるとともに、関係団体の要職にあって業界の近代化や後進の育成に献身的な努力をしてきた。

住金公庫法一部改正

年利7.5%を新設

今年度予定分（1万戸）七月にも受付

住宅金融公庫法の一部改正により、新たな条件による個人住宅貸し付け制度の新設が決まった。

新制度は、これまでの年利五・五%では原則として一二〇平方㍍未満の住宅しか融資対象にならなかったが、新制度によると、新たに一二〇平方㍍以上一五〇平方㍍以下の住宅を建設する場合、金利七・二〇%で融資されることになる。

この場合貸付限度額は「住宅建設費の八〇%以内」ということである。

また、既存住宅購入の場合貸付限度額は、住宅購入価格の八五%に相当する金額になる。

金利は七・五%で、返済期間は原則として五〇年から建築後の経過年数を差し引いた年数以内となっているが、建設省方針として今年度はとりあえず十限二〇年以内とされており、その年数が二〇年を超える場合は最長二〇年となる。

なお、当初いわれていた所得制限などの制約条項は設けられないことになった。

金利七・五%による融資は、当初、春の融資の際にも実現する予定であったが、法改正手続きがとどこおったため、春には見送られたもので、今回五・五%分とは別に、予定していた一万戸分（個人住宅八、〇〇〇戸中古マンション二、〇〇〇戸）の融資申し込み受付が開始される見通しになった。受け付け時期は、早ければ今月半ば頃になると思われる。

また、申し込みが予定をオーバーした場合は、この前の融資と同じように抽選になる模様である。

従来年利五・五%では原則として一二〇平方㍍未満の住宅しか融資対象にならなかったが、新制度によると、新たに一二〇平方㍍以上一五〇平方㍍以下の住宅を建設する場合、金利七・五%で融資されることになる。

資金が融資の対象となる。

2×4留学生を募集

修了者には職業訓練校長から修了証

【建設省】

建設省はこのほど、枠組壁工法カナダ研修実施計画をたて、当会にも参加者を呼びかけている。

計画によると、今回のカナダ研修は、同工法の技術、技能を修得し、帰国後、この工法普及の技能面のリーダーとして寄与する者の育成を目的とするため、現地研修に先がけて、国内でも理論面の研修を行うなど実地の作業訓練に即応できる態勢をととのえるなど、より高い技能や技術の修得をねらいとしている。

なお、この研修終了時にはプリティッシュ・コロンビア州の職業訓練校長、（財）日本建築センター理事長より、終了証（資格）が与えられることになっている。

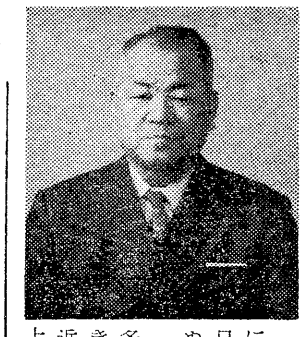
このカナダ研修の概要はカナダ・プリテイッシュ・コロンビア州の職業訓練校の第一年度分にあたる枠組壁工法の技術、技能訓練をツーバイフォー工法の現場等において住宅完成まで学ぶ。期間は八月一日から九月五日までの三六日間。募集人員は三十人程度で費用は約六十万円となっている。

全建連としても七月六日の理事会で提案、参加者を募集していく。

また前述、国内研修の内容としては、七月二十一日から二十三日の三日間、2×4資材、構造上、性能面等の特徴、部材等の用語（英語）の解説等を予定している。

適正施工に敏腕

地味な人柄に信望集中　黒田氏



昭和五年から黒田左官店を継承一よび生産体制の近代化に心がけ、その後黒田左官工芸㈱を設立し今日に至っているが、つねに経営お一工に敏腕をふるった。

また労働災害防止対策にはとくに意をそそぎ今日まで無事故施工をつづけぬいている。

さらに団体役員として多くの犠牲をはらい、よきリーダーとして業界の近代化、社会的地位の向上に尽力した。

根強かった個人需要

50年度の建築着工

建設省がまとめた昭和五〇年度の建築着工の床面積総計は二億二百十一万一千平方㍍と、落ち込みを見せた四九年度より六%の増加になった。

これを、建築主別でみると公共工事が対前年比一%減の二、五八十三万五千平方㍍、民間工事が対前年比七%増の一億七、六二七万六千平方㍍となっている。この民間工事七%増の内訳は（表一参照）会社七%減、会社でない団体三%減、個人一五%増となっている。

これでもわかるように、個人住宅の需要力が依然高く、昨年度の建築着工を回復へ向わせた一因と見われる。しかし、全般的にわずかながらも四九年度を上回ったとは言え、これを建設業の伸びが最高だった四八年度と比べると、床面積統計で約二四%減と以前低迷状態である。この最大の要因は、鉱工業用の建築が二年連続で大幅に落ち込んだためのもので、全居住用建築物だけをとって見ると、前述の個人建築主の発注増と同じように、対前年度一三%増と四六年度の水準に達している。

建設省では、四七、八年度のような大幅な増加が期待できないにしろ、五〇年度後半から民間の、特に個人住宅は勿論、非居住用で

（表一1）　50年度建築物着工統計（全国）

項目		床面積の合計 千平方㍍	対前年度比
建築物総計		202,111	106
市部計		154,134	106
郡部計		47,977	105
建築主別	公共	25,835	99
	国	6,835	116
	都道府県	5,599	86
	市区町村	13,401	98
	民間	176,276	107
	会社	47,912	93
	会社でない団体	10,429	97
	個人	117,935	115

（表－2）　用途・構造別着工統計（全国）

単位：千平方㍍

用途別＼構造別	総計	木造	不燃建築物	用途別の対前年度比
総計	202,111	95,828	106,283	106
居住専用建築物	111,212	81,185	30,027	112
居住産業併用〃	19,056	8,040	11,016	119
農林水産業用〃	6,940	2,011	4,929	108
鉱工業用〃	18,873	1,299	17,574	78
商業用〃	17,110	1,419	15,691	114
公益事業用〃	3,620	113	3,507	75
サービス業用〃	8,954	905	8,049	113
公務文教用〃	16,234	844	15,390	95
他に分類されない〃	112	13	100	64
全居住用建築物	130,268	89,225	41,043	113
非居住用〃	71,843	6,603	65,240	95
構造別の対前年度比	106	113	100	

全国各地に住宅センター設置

建設省で推進

建設省では、技術者の資質・技能向上のための研修、工務店に対する経営指導、優良住宅部品や建設工法の展示、住宅に関する情報の提供などを行なう一方、消費者に対しては住宅を建設する際の融資の手引き、住宅税制、建べい率など法的規制などの相談に応じるなど研修・情報・相談の中心になる「住宅センター」を、一県に最低一ケ所設置していくよう各自治体を指導していくことになった。

工務店や大工等中小建築業者の経営合理化や技術者の技能水準の向上は、木造一戸建て住宅の供給を円滑に進めるために不可欠なものとなっている。特に最近、住宅対策の重点が量から質へ移りかわってきているときには、中小建築業者へのキメ細かな対応策が必要となった。

この住宅センターは現在、一道三県で自治体の全額出資、または民間業者との共同出資の財団法人組織で設置されており、他の自治体でも設立する動きがあるといわれている。

全建連でも、今年度の事業計画の中に、需要拡大対策として建築相談コーナー等の設置を推進することになっているので、同センターとのこんごの協調が期待できそうだ。なお、本会会員の中で、現在住宅センターに似た事業を行なっている組合がある。それは、藤沢建築業協同組合（鈴木理事長）で、本紙四九号の〝会員ひろば〟に掲載されているように「市民住宅相談室」という名で行なわれている。同組合の経験が、本会事業推進に役立つものと思われる。

建設省幹部人事

次官に高橋弘篤氏

竹下建設大臣は、辞任する高橋国一郎事務次官の後任に高橋弘篤官房長）▽大臣官房総務審議官　大塩洋一郎（計画局長）▽計画局長　大富宏大（官房審議官）▽計画局参事官　関口洋（官房人事課長）

に同日付で次の通り発令した。（カッコ内は前職）

▽事務次官　高橋弘篤（官房長）▽官房長　栗屋敏信（国土庁官房長）

十二日の閣議で了承を得、これにともない局長クラスの異同とともに同日付で次の通り発令した。

あれやこれや

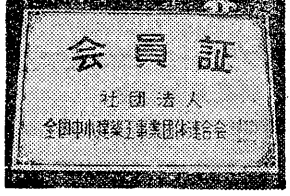
▼今年は六月二十日が〝父の日〟になったため、最近ではこの習慣も定着しつつある。父親というものは概して「照れ屋」が多いものだが、この日ばかりはますます頭をかくことだろう。子供の目から見れば、父親は大きな力で家庭を守ってくれる人であり、頼もしい大黒柱である。時には母親が駄目だといったこともかなえてくれる甘いところもあって、日頃きびしいことを言っていても本当は良い人なんだということになる。母親のように身辺の世話をしなくても、そばにいるだけで安心してもらえるのだから、父親は得だとも言える▼親から見れば子供はどの子も同じようにかわいいものだが、父親にしてみれば、女の子は特にかわいいものらしい。谷川俊太郎の詩に「雛祭の日に」と題して娘よ——いつかおまえのたったひとつのほほみが　ひとりの男を　生かすことも　あるだろうそのほほみの　やさしさに　父と母は　信頼するすべてを　のこすのだ　おのがいのちを　のこすのだ　とうたっている▼親がものわかりが良いということは、子供にとってはうれしいことだが、何でも受け入れて甘やかしてしまっては子供を駄目にする。友だち同志のような親子もふえているが、然るべきときには親として譲れないというき然としたものさえあれば親子が対等であるということはすばらしいことだと思う。世代の相違は断絶につながるといって、子供を必要以上におそれる親もいる。これは親としての自信のなさがそうさせるのであって、父親の権威喪失などと嘆くのはまちがっている。子供は親の生きる姿を見て大きくなっていくのだから、良い手本になってほしいものだ。

全建連事業部推せん図書

◇住宅資材データブック76
(財)住宅産業情報サービス刊
住設機器／インテリア材編
内外装建材／外構造園器材
全建連特価　二、八〇〇円
送料別　三〇〇円
■手応えが違う大型俯瞰
■簡潔記述、豊富なデータ
■厳選し抜いた製品群
■公平な商品比較のできる合理的レイアウト
■〝決断〟の助を養う「解説記事」
■定価据置

◇図解・ツーバフォーの詳細
彰国社刊
全建連特価　九三〇円
2×4工法はこの一冊でマスターできます

全建連会員必携の
〝会員証〟と〝バッヂ〟



全建連会員証

◇会員証
メラミン焼付塗装　2,580円

◇銀バッヂ
銀台金張　500円